

## 高山村共育コミュニティスクール運営委員会 学校関係者評価報告

H.30.1.30 高山小学校

高山村共育コミュニティスクール運営委員会は、村教委の主導により15人の運営委員が委嘱され、本年度より正式に立ち上がりました。同委員会は、①学校運営への参画 ②学校支援 ③学校関係者評価の3つの機能を併せ持ち、学校運営の改善及び子ども達の健全育成に取り組むことを目標とし、高山小中学校のコミュニティスクールとしての活動を支えて下さっています。H.30.1.17 村公民館にて運営委員会が行われ、小中学校とも学校関係者評価の機会を得ました。小学校へいただいたご意見の概要を報告します。

- Q.ユネスコスクール認定に伴い、子ども達や先生方の意識はどう変わってきたのか。
- A.新たな活動を始めたというわけではない。既存の活動をESDの観点で捉え直し、関連のある活動を教科横断的に結びつけて、機能的に教育目標に迫れるようにしている。そのような取り組みを通して、何のためのESDをやるのか職員の意識は変わりつつある。しらかば学習発表会では、生活・総合的な学習を中心に情報を収集整理分析してプレゼンテーションする力をつけている。多くの皆さんに参観していただいて大変励みになっている。また、信州ESDコンソーシアムに加入し、成果発表の機会を持っている。参加した子ども達は他校から良い刺激を受けて外に目を向けたりユネスコスクールとしての自分達の活動を見直したりする機会になっている。
- Q.大変素晴らしい報告だったが、この報告に現れていない非行や保護者とのトラブルなどの問題はないのか。そういった報告もほしい。
- A.目立った非行やトラブルは抱えていない。教室不適應や特別支援教育などの課題はある。いじめもある。その都度手を入れ、芽を摘んでいる。不登校はいないが、発生しないために職員が保護者と連携したり、チームで取り組んだり、連携して取り組んでいる。
- 全体的に子ども達の自己肯定感が高く、全体的に良好な結果になっている。
  - 小学校のコミュニティスクールは良い活動がたくさんある。
  - 外部と交流することで、自分達の村を客観的に見直すことができ、自信を持ったり、学びが広がったりしているのではないか。
  - 高山村は学習に値する地域素材がたくさんあってよい。今までの活動をベースにして、地域・保護者も参加して、これからもふるさと学習を続けてほしい。
  - 体験や交流のための時数をこれからも確保して欲しい。英語が入ってきて小学校はますます忙しくなる。窮屈にならないように願う。
  - 小中での連携も大事にし、情報がよく伝えられている。
  - 外部講師をある程度有償にして確保しやすくすれば、先生方の負担も軽くなるのでは。そのようなバックアップを教育委員会に期待する。
  - わくわく村の活動が本当に素晴らしい。事務局の支えで頑張っていると思うが、共育コーディネーターはじめ、企画準備していただいているスタッフの健康が心配。
  - 村内の体験学習に行ったら、そこで工夫や努力をしている大人の姿、生き方に学んで欲しい。
  - 授業を見るなど、生の学校の様子を見られると良い。
  - しらかば学習発表会で児童の絵画作品を見させてもらった。先生によって指導の方向性の違いが感じられた。

※いただいたご意見を大切に受け止め、今後の学校運営に生かしていきたいと思えます。